

たりには、百萬の人が動くかも知れない。若し之れが實際とするならば、旅宿の混雑は言ふまでもないことであるし、尙ほ、交通機關は如何に之れを消化せんとするか？ どうせ鐵道や軌道などは急の間に合はないのだから、必ず、陸地は自動車が氾濫するであろうし、又、海上からの臨時船便によつて、大部分の旅客を運ぶより外に、道はあるまい。(つゞく)

## 日 食 の 天 文 學

講師 京都帝國大學教授理學博士 山本一清氏

(昭和十年八月二日—四日)

(於旭川、講習會要目)

1. 天體運行の種々相  
日週運行——年週運行——遊星運行
2. 天體運動論一般  
ニウトン力學——二體問題——天體の軌道と其の要素——三體問題——攝動
3. 食の種類  
日食と月食——皆既食と部分食——食分——接觸現象
4. 月食一般
5. 日食の現象  
日食の諸相——部分食、皆既食、金環食——接觸觀測——陰影帶——ベイリ粒——色球——紅焰——コロナ
6. 太陽學上より見たる日食の諸問題  
太陽の構造——太陽活動——比較太陽學——日食の物理——アインシュタイン論と日食
7. 食の週期  
サロス——メトン——章
8. 日食の歴史  
古代の日食——東洋と西洋  
現代の日食——其の觀測史——遠征史  
將來の日食——豫想
9. 食の計算
10. 食と掩蔽及び太陽面經過
11. 人世歴史と日月食  
年代學の基礎